



渡部操一さんが満 100 歳に

長寿を祝い、知事賀寿などを贈呈



前後町長から賀寿を受け取る渡部さん(右)

5月14日に満100歳の誕生日を迎えた渡部操一さん(蜂屋敷)への知事賀寿贈呈式は同日、渡部さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。

樋山公則(会津保健福祉事務所副所長、前後公町長)、小木良司(町老人クラブ連合会副会長)が賀寿や記念品を贈ると、渡部さんは元気な声で「ありがとうございます」とお礼の言葉を述べ、家族から花束を受け取ると笑顔を見せました。あいさつに立った孫の好治さんは「2年ほど前まで自転車に乗りゲートボールに行っていた。この先も元気に過ごしてほしい」と話しました。

正之公ゆかりの高遠町を訪問

「保科正之公生誕 402 年祭」参加ツアー



ツアーに参加した皆さん。高遠町歴史博物館の庭で記念撮影

長野県の伊那市観光協会が主催する「保科正之公生誕 402 年祭」は4月29日、伊那市高遠町総合福祉センターなどで開催されました。猪苗代の偉人を考える会(江花俊和会長)は正之公に縁のある本町と伊那市との交流をさらに深めようと、この生誕祭の参加ツアーを企画。参加者を募り、4月28、29の2日間にわたって伊那市を訪問しました。

江花会長にツアーの感想などをまとめていただきましたので、ご紹介します。

伊那市より「名君・保科正之公生誕 402 年祭」の案内が町、議会および当会にあったため、広く町民に呼び掛け、猪苗代の偉人を考える会が主催して17名で訪問してきました。

伊那市高遠町は当町の土津神社に眠り祀られている会津松平家初代藩主・保科正之公が青少年期を過ごした所で、高遠城址や樹林寺、建福寺などのゆかりの史跡を見学し、生誕402年祭の神事に列席するとともに、白鳥孝市長をはじめとする伊那市の方々の温かいお心遣いに触れて楽しく交流を深めてきました。

伊那市(旧高遠町)とは平成16年に親善交流を結んでいます。また「名君・保科正之公の大河ドラマ化」を目指していることから民間交流をさらに深めていきたいと思えます。

猪苗代の偉人を考える会 会長 江花俊和



式典の神事で玉串をささげて礼拝する齋藤憲郎町企画財務課長(中央手前)と渡部博幸町議会副議長(右奥)

古木・名木を後世に伝える

「千年の会」がシンポジウム開催



亀ヶ城公園に記念植樹する前後町長(左から2人目)ら

古木・名木を後世に残す活動に取り組む「千年の会」のシンポジウム「千年の会猪苗代大会」は4月27日、学びいなかで開かれました。同会は、樹齢千年を超える樹木が会員となり、縄文杉(鹿兒島)が会長、三春滝桜(三春町)などが副会長を務め、本町の大鹿桜も会員になっています。シンポジウムでは、会員の木を持つ自治体での環境保全活動などを紹介。横浜ブリキのおもちゃ博物館長の北原照久さんの講演や千年さとみさんのコンサートなども行われました。シンポジウムの開催を記念し、亀ヶ城公園に「千年桜」と名付けたサトザクラを前後町長らが植樹しました。

落語の楽しさを分かち合う

町立猪苗代病院で落語会を開催



春雨や風子さん(左)の落語を楽しむ来院者ら

町立猪苗代病院は地域の人との交流を深めようと5月17日、同院に落語家の春雨や風子さんを招いて落語会を開きました。

会場には100人以上のお客さんが詰めかけ、立ち見が出るほどの盛況ぶり。同院の職員らも同席し、来院者らと落語の楽しさを分かち合いました。開演前と終了後には抹茶が振る舞われたほか、肌チェックコーナーも設けられ、好評を博しました。

夫婦で訪れた高田清喜さんとエ子さん(八千代)は「貴重な経験になった。初めて生で落語を聞いたが、とても楽しかった」と満足そうな笑顔を浮かべていました。

桜並木の保全に役立てて

画家の橋本広喜さんが町に寄付



前後町長に寄付を手渡す橋本さん(中央)と同席した黒田住職(右)

郡山市の版画家橋本広喜さんは5月17日、観音寺の黒田清哲住職と共に町役場を訪れ、観音寺川の桜並木保全に役立ててほしいと3万円を寄付しました。

橋本さんは4月24日から5月6日まで、観音寺で「ふるさと桜版画展」を開催。観音寺川の桜の中に病気の木があったことから、売上金の一部が寄せられたものです。

贈呈式は同日、町役場で行われ、橋本さんが前後町長に寄付金を手渡しました。前後町長は「ありがとうございます。有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

7月から毎週火曜日、午後7時まで 窓口業務の時間を延長します

町では、町民の皆さんの利便性向上を図るため、7月から毎週1回、住民票発行などの窓口業務の時間を延長いたします。延長となる業務の内容、延長時間などについては、次のとおりです。

なお、今後は町民の皆さんの利用状況を見ながら、より良い住民サービスの提供に努めてまいります。

●延長窓口業務の内容

- ・住民票、印鑑証明、戸籍の証明書発行
- ・戸籍届、転入・転出届

・資産証明、納税証明(車検用含む)、所得証明、所得課税証明、課税証明、所在証明の発行 など

●開始月

平成25年7月

●実施曜日および実施時間

毎週火曜日
午後7時まで

●問い合わせ先

総務課行政管理係
☎(62)2111



猪苗代町民生児童委員協議会からのお知らせ

虐待の防止や早期発見にご協力ください

この度、猪苗代町民生児童委員協議会では、児童虐待防止や早期発見のためのポスターを作成しました。児童虐待が疑われる場合のサインをわかりやすく挙げています。このポスターは今後、学校などに配布される予定です。

●児童相談所全国共通ダイヤル 0570-064-000
●会津児童相談所 23-1400 (24時間対応可)
●猪苗代町 保健福祉課 62-2115
※秘密は守ります。相談、連絡は匿名でも大丈夫です。
迷惑が掛からないように進めますので、ご安心ください。
猪苗代町民生児童委員協議会

気になる子どもを発見したら、ためらわずにお電話ください

- 深夜や寒いときに長時間にわたり外で過ごしている。
- 保護者に激しく怒られている。たたかわれている。
- 原因のはっきりしないけがをしている。手当てされていない。
- いつも衣服や体が不潔である。
- いつもおなかをすかせている。

など、気になる子どもを見つけた場合には、ためらわずにお近くの民生児童委員や記載の関係機関にご連絡ください。また、児童だけでなく、高齢者や障害者に対する虐待が疑われる場合にも相談・通報などのご協力をお願いします。

町役場における虐待相談・通報の窓口は、児童・高齢者・障害者ともに保健福祉課(☎62-2115)です。



長年の自然保護活動たたえる

猪苗代湖の自然を守る会に県知事表彰



猪苗代湖北岸でのヒシ刈りの様子

猪苗代湖の自然を守る会(鬼多見賢代表)がこのほど優良自然保護団体として県知事表彰を受けました。この表彰は、同会が長年にわたり猪苗代湖畔の清掃活動や湖・河川の水質調査、町内の小学生らに学習会などを行い、自然保護の推進に寄与したことが認められたものです。



鬼多見賢代表

鬼多見代表は「この表彰は、今まで地域の皆さんにご協力いただいた賜物です。これを糧に、環境保全に一層努力していきますので、今後もご支援をよろしくお願いします」と話しました。

住民の命と財産を守り抜く

消防団春季検閲で訓練の成果披露



猪小での訓練に先立ち、町内を行進する消防団員ら

町消防団の春季検閲は4月29日、猪苗代小学校で開催され、町内6分団から386人が参加しました。

団員らは、検閲に先立ち中央商店街などを行進。町民に日頃の訓練の成果を披露した後、小学校で通常点検や規律訓練などに臨み、きびきびとした動きを見せました。

訓練後には五十嵐正義団長が「いつ火災や災害などが発生しても、伝統ある猪苗代町消防団の一員として、不屈の消防精神の下、困難な消防業務に精励し町民の期待と信頼に応えてもらいたい」とあいさつ。防災への誓いを新たにしました。

頑張る子どもたちのために

猪苗代観光協会が町校長会に寄付



土屋教育長に激励金を手渡す佐藤会長(右)

猪苗代観光協会は5月22日、野口英世博士顕彰記念事業の運営資金として町校長会に10万円を寄付しました。

このお金は、毎年猪苗代スキー場を訪れている関東在住のスキーヤーが、風評被害に負けないようにと同協会に寄せた激励金。同協会で使いみちを検討した結果、町内で頑張る子どもたちのために使ってもらおうと決定したことから贈られたものです。

贈呈式は同日、町役場で行われ、佐藤(たか)正会長が土屋重憲教育長に激励金を手渡しました。この激励金は、町内小学校スキー大会の費用に充てられる予定です。